

チャレンジドオフィスふっつ

令和6年4月より、障がい者の一般就労支援を目的として、富津市役所内に「チャレンジドオフィスふっつ」が設置されました。

＜チャレンジドオフィスとは＞

一般就労の意欲があるものの、何らかの課題があり、一般就労に結び付かない障がいのある方を対象に、一定期間会計年度任用職員として採用し、日々の業務を通じて就労スキルやマナーの向上、勤怠の安定を図ることにより、社会人としての行動習得を目指し、その職務経験を活かすことで一般就労を円滑に行えることを目的とするものです。

＜業務内容の例＞

- ①郵便物等の仕分け・配布 ②郵便物等の封入、発送処理
- ③会議資料や配付文書の印刷・仕分け ④簡易なデータ入力等
- ⑤廃棄文書の裁断（シュレッダー作業等）



（写真）配付文書の仕分け作業の様子

＜働いている方の声＞

Sさん：「初めは不安もありましたが、スタッフの皆さんが丁寧に教えてくれるので、今では安心して仕事に取り組んでいます。」

Mさん：「とても良い雰囲気ので働くことができます。仕事を効率良くこなせるよう、地道に頑張るスキルを身に付けていきたいです。」

＜ 富津市内の相談機関 ＞

富津市内に所在する相談機関を紹介します。以下の機関では障がい児・障がい者福祉に関する様々な相談を受け付けています。お気軽にご連絡ください。

＜障がい者（児）の社会生活全般に関する相談、福祉制度の利用に関する相談＞

○富津市基幹相談支援センター えこ ☎TEL：0439-66-2750 FAX：0439-29-7269

＜障がい福祉サービス利用に関する相談＞

○ほうきぼし ☎TEL：0439-66-1750 FAX：0439-29-7269

○望みの門ベテル ☎TEL：0439-27-0551 FAX：0439-27-0545

○あすなろ相談支援センター ☎TEL：0439-29-6600 FAX：0439-67-1400

○かけ橋相談支援室 ☎TEL：0439-29-6610 FAX：0439-29-6612

＜障がいの有無に係わらず社会生活全般に関する相談＞

○君津ふくしネット ☎TEL：0439-27-1482 FAX：0439-88-1481

＜障がい福祉制度、障がい者（児）の社会生活全般に関する相談＞

○富津市 障がい福祉課 ☎TEL：0439-80-1260 FAX：0439-80-1355

（富津市役所2階 25番窓口）



富津市障害者総合支援協議会のマスコットキャラクター のりちゃんです！ よろしくね！

もごっち

ふっつししょうがいしゃ
富津市障害者
どうこうしえん
総合支援
きょうぎかい
協議会だより

第20号
令和7年3月6日

＜事務局＞
富津市障害者総合支援協議会
広報会議

令和6年度各部会の活動報告

就労支援部会

今年度は、「農福連携」の理解を深める活動を中心に行ってきました。農家と事業所との意見交換会や農福連携を行っている事業所への視察を行いました。農福連携には、農家と事業所をつなぐコーディネーターが欠かせないことを知り、富津市で行っていくことの難しさを実感しましたが、前向きに取り組んでいけるよう、今後も学習の場を設けていきたいと思います。

＜ 就労支援部会 部会長 近藤 美知代 ＞

地域生活支援部会

「地域の支援者」としての民生委員・児童委員の役割と、実際に活動する中での経験談を聞き、民生委員・児童委員とどのように連携できるかを検討しました。今後も有事の際における地域支援の在り方を検討し、実際にあった災害の経験や反省点などを参考にして、平時から備えられる具体的な体制整備について、検討していきます。

＜ 地域生活支援部会 部会長 幾野 圭裕 ＞

子ども部会

子ども部会では、1月にスキルアップ講座として、「小児科医師との座談会」と題して、子どもに関わる事業所の方々との意見交換会を開催し、アンケートでは定期的に開催してほしいとの声がある等、有意義な意見交換となりました。子育て交流会は毎週第2火曜日に開催し、ピアサポート的に発達に課題を抱える保護者の相談や助言をする場となり、リピーターも増えています。

＜ 子ども部会 部会長 小原 生代 ＞

権利擁護部会

権利擁護部会は、2月に「合理的配慮」をテーマに弁護士佐久間水月様を講師に迎え「第1回あったかふっつエンジョイトーク」を開催。また、同月に「意思決定支援」をテーマに淑徳大学副学長鈴木敏彦様を講師に迎え「第2回あったかふっつエンジョイトーク」を開催いたしました。来年度は「意思決定支援」の研修に参加できなかった事業所等に部会員が直接訪問、研修を行い、より多くの方に対して「意思決定支援」について学べる場を設けたいと思います。

＜ 権利擁護部会 部会長 平野 翔也 ＞

パラスポーツ体験会 in 富津小学校



(写真左から)
千葉ホークス
植木 隆人 選手、
大本 将貴 選手、
平山 拓臣 選手、
緋田 高大 選手、
(写真右)
市原ボッチャクラブ
門脇 倭雄 氏

こどもたちに障がいへの理解を深めてもらい、パラスポーツに興味を持つきっかけづくりとして、富津小学校5、6年生を対象としたパラスポーツ体験会を令和7年1月20日(月)に実施しました。

この体験会は、一般社団法人千葉県障がい者スポーツ協会が実施する「パラスポーツコーディネーター派遣事業」を活用したもので、同協会による支援を受けて実現しました。

当日は、44名の児童が参加し、車いすバスケットとボッチャの2種目を体験しました。

車いすバスケットは、過去に全国大会優勝経験もある千葉県内の車いすバスケットチーム「千葉ホークス」の植木選手、大本選手、平山選手、緋田(あけだ)選手、ボッチャは、市原ボッチャクラブの門脇氏を講師としてお招きしました。

車いすバスケットの体験では、競技用車いすの乗車体験やミニゲームを行いました。初めのうちは慣れない車いすの操作に苦戦していましたが、選手たちからのアドバイスのおかげもあり、すぐコツを掴んでいました。最後には選手と一緒にミニゲームを行えるまでに上達し、パスを受けてシュートを決める場面もありました。

ボッチャの体験では、競技のルールについて説明を受けた後、実際にボッチャの対戦を行いました。対戦を重ねるうちに、投げる強さの調節や、どこに投げれば自分のチームのポイントになるのかなど自分たちで考えて試合ができるようになっていました。子どもたちもどんどん白熱し、接戦となった対戦では、1投ごとに会場に大きな歓声が上がっていました。

参加した児童からは「(ボッチャは)最初は難しいと思ったけど楽しかった。」「障がいがあってもなくても関係なくスポーツを楽しむことができることが学べた。」といった感想がありました。

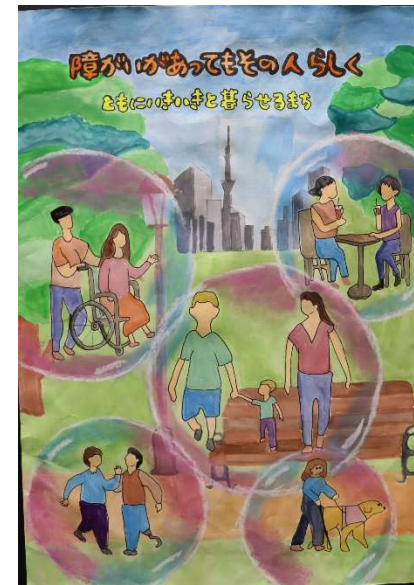


第8回ポスターコンクール

～障がいがあってもその人らしく、ともにいきいきと暮らせるまち～

市内の小・中学校の児童生徒から、「障がいがあってもその人らしく、ともにいきいきと暮らせるまち」をテーマとしたポスターを募集し、ポスターコンクールを開催しました。また、障害者週間の令和6年12月3日(火)～9日(月)に、イオンモール富津の富津市立図書館前にて応募作品を展示しました。

＜協議会長賞＞



大佐和中3年 小網代 爽翔 さん

＜市長賞＞



大佐和中3年 山中 悠聖 さん

＜のりちゃん賞＞



大佐和中2年 館合 いろは さん

＜佳作＞

＜佳作＞



天羽小4年 浅倉 愛奈 さん



大佐和中1年 玉川 縁 さん

＜佳作＞



天羽小5年 森 心菜 さん



たくさんの応募をありがとう！
次回のポスターコンクールも、多くの応募を待ってるね！